

ご 挨拶

波紋～空紋

一つの出来事によって生じた動揺は、  
波紋の様に現れます。  
刻々と変化する 今 という瞬間を  
充実して生きることで、  
そっと澄んだ色（空紋）へと導かれると  
祈りながら制作しました。

光・灯を美しく見せる美濃和紙・・・  
通りに面したギャラリー空間の光による 『波』 と、  
奥フロア空間の灯 『涙の欠片』 しずく に、  
刻々と表情を変える和紙の情感を取り入れたいと思います。

新型コロナウイルスによる波紋は、私の心に波動として、  
幼年期過ごした英虞湾の海の記憶と、  
中年期の病気治療の記憶とを交錯させました。  
病院の窓から見た日出の陽光が、雲をルミナス色に輝かせて・・・  
私の心を恐怖や動揺から澄んだ心へと導いてくれました。  
今回、その際に抱いた色合いを繊細で生命力のある  
故後藤茂氏の手漉き薄美濃和紙，典具帖紙に彩色を施しました。  
又、様々な表情を見せる楮の繊維を部分的に使用して、  
私の内側にある想いを表現出来るよう創作しました。

三回目の個展を開催させていただけますこと、  
心より感謝申し上げます。  
ご高覧いただけましたら幸いです。

2021年6月 村上典子